


平成 29 年度 研究サマリー

研究会名称	腎泌尿器癌研究会	
代表者所属	東京女子医科大学 泌尿器科	
代表者氏名	田邊 一成	
研究方法・結果	<p>本研究会は、腎不全・腎泌尿器科疾患において、より高度な内容の診療、研究を行い、同時に将来を担う世界で活躍できる人材の育成を行うことを目的としている。全国及び諸外国から当科での研修、研究を希望する多数の医師やメディカルスタッフに対し、教育・研究指導を行っています。その中でも腎移植に関しては、多くの知見を国内のみならず世界に向けて、継続的に発信している。</p> <p>これまでの腎移植の実態は、主として欧米より報告される無作為比較試験や観察研究からもたらされるものであり、日本人腎移植患者における実態や新規開発された免疫抑制薬がどのように日本人腎移植患者に影響を与えるかは明らかではなかった。実際、腎移植に使用される承認薬、その使用量などは欧米とわが国で異なる。また、これまでの報告では医師や各施設の処方に基づいた検討であったが、腎移植のように生涯に渡り免疫抑制剤を服用する患者は例えば感染症を合併した時期に代謝拮抗薬などを適宜調整している可能性がある。加えて、短期的なアウトカムのみならず手術や日常生活動作、生活の質など長期的なアウトカムも見据えた診療が必要である。</p> <p>そのため、2015年5月に当科、九州大学病院、友愛会豊見城中央病院、東京女子医科大学八千代医療センター、東光会戸田中央総合病院泌尿器科、東京都保健医療公社大久保病院泌尿器科、ときわ会常磐病院、東京慈恵会医科大学病院の8腎移植実施施設と、腎移植フォローセンター余丁町クリニック、原三信病院の2腎移植後フォロー施設からなる多施設共同でのる JACK (Japan Academic Consortium of Kidney Transplantation) を立ち上げた。この JACK 参加施設からの日常診療情報を収集・解析し、腎移植後患者の病状・治療に関する観察研究を行った。</p> <p>2017年10月時点で登録症例数は3,770例となり、この JACK cohort を用いて、日本人腎移植患者の疫学調査や後向き観察研究を行っており、2017年も国内・国外学会でその成果を発表し、6編の英文誌(内3編を研究成果に記載)を公表した。</p>	
研究成果(論文、学会発表、雑誌掲載等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cardiovascular disease in kidney transplant recipients: Japan Academic Consortium of Kidney Transplantation (JACK) cohort study. Okumi M, et al. Clin Exp Nephrol. 2017 Nov 20. 2. Elderly living donor kidney transplantation allows worthwhile outcomes: The Japan Academic Consortium of Kidney Transplantation study. Okumi M, et al. Int J Urol. 2017; 24 :833. 3. Diabetes mellitus after kidney transplantation in Japanese patients: The Japan Academic Consortium of Kidney Transplantation study. Okumi M. et al. Int J Urol. 2017; 24: 197. 	